

令和4年度第1回大田区障がい者施策推進会議 書面参加者意見一覧

番号	議題（1） おおた障がい施策推進プランについて	回答
1	感想：おおた障がい者施策推進プラン【概要版】において、障がい特性が発達・高次脳機能・精神等に偏っている様に読めます。視聴覚・肢体・知的・難病等への言及が無く、当事者として残念です。	障がい者施策を推進するにあたっては、障がいの種別にかかわらず共生社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。
	議題（2） おおた障がい施策推進プランの進捗状況について（令和3年度実績）	回答
2	資料4-1 第5章 1 障害福祉サービス等の提供体制の確保に向けて （3）福祉施設から一般就労への移行等について 「※福祉施設から一般就労への移行者数は①～④の合計値」となっているが、令和5年度末目標が合計値になっていない理由は。	障がい施策推進プランでは、「区市町村障害者就労支援事業から一般就労への移行者数（進捗状況報告書 P3（3）④にあたる部分）」を数値化していないため、令和5年度末目標は合計値となっております。今回の進捗状況報告書ではより細かな状況を確認するため、④を数値化いたしました。
3	資料4-2 施策目標1-5 障がい児支援の充実について 今年度も、小中学校への巡回相談で連携させていただきます。また、子ども発達支援センターわかば様と連携した支援会議も同様に御協力いただきながら進めてまいります。	区としても、引き続き各部署連携の上、障がい児支援の充実に努めて参ります。
4	質問：福祉等のヒューマン・サービスに従事する皆様は、日々メンタル面のご苦勞をされていると思います。管理職は職員に対して、何かサポートをしていますか。	年に1度、全職員に対しストレスチェックを実施しております。職場ごとの集計・分析を行い、その結果をもとに管理監督者

		<p>は職場の現状把握及び職場改善に取り組んでいます。</p> <p>そのほかにも、職層ごとのメンタルヘルス研修を実施しております。</p>
5	<p>要望:障がい児支援について、</p> <p>a.「統合保育」の名称を、インクルージョン理念を反映した「包括保育」にしてはいかがでしょうか。</p> <p>b.特別支援学校高等部の進路指導の実態を、シェアするのはいかがでしょうか。卒業から地域生活・就労への移行計画の共有は、本会議において大切な情報であり、特別支援学校に対してもフィードバック効果が期待されると思います。</p> <p>c.区立中学校の特別支援教室の活用ビジョンの資料があれば知りたいです。支援ニーズの掘り起こしのため、この様な取り組みは評価されるべきと思います。</p> <p>d.特別支援学級の教員が、非援助思考性のために孤立する場合があります。校内外の援助者・援助資源をつなぐ仕組みがあるといいと思います。</p>	<p>a.様々な名称がありますが、保育園では合理的配慮をしながら、子どもたちが集団生活を楽しめるよう保育しています。</p> <p>b.障がいがある方が、地域で自分らしく安心して暮らせる包摂型の社会を目指してまいります。</p> <p>c.おおた教育ビジョン 第3章 重点的に進める教育プランと主な取組 プラン5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】に「特別支援教育の充実」という項目が定められております。</p> <p>d.教育分野に共有させていただきます。</p>
6	<p>要望：要配慮者及び避難行動要支援者支援において、避難支援等関係者にガイドヘルパーを加えていただけないでしょうか。視覚障がい単身世帯で、特に必要です。</p>	<p>実現可能であるか関係部署及び関係機関の意見も確認いたします。</p>
7	<p>要望：子どもたちへの障がい理解啓発は、とても大事だと思います。私の経験からも、健常児と障がい児の交流を、積極的に進めていただきたいと思います。</p>	
8	<p>要望：「大田区移動等円滑化促進方針」のバリアフリー事業に加えて、「心のバリアフリー」の啓発、及び同行援護事業・移動支援等の人的インフラの整</p>	

	備充実を、一体的にデザインしていただけるといいと思います。	
9	重い障がいがある方の利用できるグループホームの整備が進むといいのではと感じます。	今後も、障がい者グループホームの開設・運営の支援等、地域での暮らしを支えるための支援体制の充実を図ってまいります。
10	全体的に事業は充実されていると思われます。	今後も障がい施策充実のための取組を進めて参ります。
	議題（3）大田区障がい者実態調査について	回答
11	要望：令和4年度大田区障がい者実態調査の、調査対象のサンプルの取り方として、この方法では視聴覚・病弱障がい者等の少数の障がいカテゴリーを、適切なボリュームで拾うことは難しいと思います。各手帳所持者数の割合を傾斜配分して、サンプルを整えていただきたいです。	障がい種別のサンプル数は、実際の障がい種別の割合に基づき算出しております。少数障がいのご意見については、アンケート調査のほか、障がい団体等との懇談会など、別の機会を通じて、ご意見を頂戴し、計画策定に向けた参考とさせて頂くことを想定しております。
12	サービス提供事業所に対する調査では、事業所の職員欠員状況や人数をきいてみてもいいのではと思いました。	設問につきましては、的確に障がい者を取り巻く現状などを確認できるよう工夫してまいります。
13	虐待防止についての設問では、施設の実施状況（取組状況）がもう少し詳しくわかるような内容にした方がよいと感じました。	
14	コロナの影響は、施設や福祉行政はもちろん、対象者や支援者にわたって避けられない状況であることを相互に理解しあっておいていただきたい。また、支援体制についての情報を障害あるなしの区民全体に周知を継続されたい。	新型コロナウイルス感染症の影響は、障がいの有無に関わらず多くの人に影響を及ぼしております。今後も関係各所連携の

		上、更なる支援体制の充実に向けて取組んで参ります。
	その他	回答
15	<p>大田社協が令和4年度で、同行援護・居宅介護事業を終了するという通知がありました。</p> <p>おおた障がい施策推進プランの基本理念に沿わない事案です。視覚障がい者にとって、欠くことのできない福祉サービスが無くなるのは大変悲しいです。</p> <p>ガイドヘルパーさんに手引きしていただけないと、生活をつなぐ買い物や、命を守る通院ができず、地域で自分らしくいきいきと安心して暮らせません。</p> <p>皆様に、視覚障がい者の不安の深さや、心の痛みを共有していただきたいです。ご理解を賜りまして、状況が改まりますよう、お力添えをいただければ大変有難いです。</p>	大田区社会福祉協議会に共有させていただきます。
16	<p>蒲田歯科医師会としましては、令和3年度に民間の障害者施設14施設に対し、歯科医師16名、衛生士37名を派遣し、計145名の歯科検診、相談を実施いたしました。また、大田区立心身障がい者（児）施設利用者に対し、7施設23名の歯科医師を派遣し、計310名の歯科相談及び検診を行いました。令和4年度も引き続き行う予定です。</p>	引き続き障がいのある方の健康維持に関する取組へのご協力をよろしくお願いいたします。

※書面参加者意見につきましては、原文をそのまま引用しております。